

地区別意見交換会概要

日時：平成27年7月21日（火）

場所：県内6か所

主な参加者：まちづくり関係者、若手企業家、女性活躍・子育て関係者など

【主なご意見】

○結婚・出産・育児環境について

- ・子育てや教育環境の良さは福井県の財産であり、もっとPRすると良い。
- ・出産、子育て時の両親が気兼ねなく育休をとれる仕組みづくりが必要。
- ・放課後児童クラブは小学校高学年でも受け入れるようにしてほしい。
- ・急に発熱した子どもを保育園や小学校から病院へ送迎するなど、保育サービスの充実が必要。

○教育環境について

- ・中学、高校から(家庭も含め)地元意識を植え付ける必要がある。
- ・先生が県外の偏差値の高い大学に学生を誘導しているなら、見直しが必要。
- ・県内大学の新しい科や地域枠があれば若者の地元定着が進む。
- ・就職指導を行う先生に、しっかり福井の企業を知ってもらう必要がある。

○産業・雇用について

- ・中小企業の採用に関する支援制度があると良い。
- ・就職活動時に、福井の企業の情報と地域の魅力を併せて発信すべき。
- ・親が福井にどんな企業があるか知らないので、もっと宣伝すべき。
- ・仕事がないなら、創業できる環境を整備し、ネイルやファッションでも福井でやっていけるという実績を作るべき。

○U I ターン等について

- ・子どもに「戻ってほしい」と伝える重要性を両親に認識してもらう必要がある。
- ・女性のUターンも重要だが、女性ばかりにターゲットを絞る必要はない。
- ・全国誰でもではなく、本県出身者など、Uターンのターゲットを絞るべき。
- ・Iターン者には、ハード面と併せて、地域のお世話係のようなソフト面での支援の充実が必要。

○その他

- ・福井は東京より生活にお金がかからないことなどを理論的に説明できると良い。
- ・各地域は県への要望ばかりでなく、自ら地域でできることを考えるべき。
- ・地域が連携して若者を受入れる仕組みを作るべきだ。
- ・60万人になった際、都市がどうなるのか考えることが大切。